

# うめきた2期区域中核機能について

## 前回地域部会における中間報告

- 海外の産業クラスターの成功のポイントやうめきた1期の取り組みなどを分析し、中核機能の要素のひとつ「新産業創出」について、昨年11月時点での方向性を確認。
- 関西をひとつのクラスターとして捉え、うめきたは、その立地を活かして、関西の優れた技術を産業に結び付ける役割を担う拠点にする。
  - 1期ナレッジキャピタルとの相乗効果で、うめきた全体の強みを発揮し、都心型イノベーション拠点を形成する。
  - イノベーション創出には、総合コーディネート機関の設置をはじめ、イノベーション支援機関や教育・研究機関の立地が必要。
  - イノベーション拠点として成功するためには、わかりやすいテーマを設定することが有効。

# 中核機能推進会議メンバー

(敬称略 あいうえお順)

(有識者)	小寺 秀俊	京都大学 教授
(有識者)	松田 一敬	合同会社SARR代表執行社員
(座 長)	八木 康史	大阪大学 理事・副学長
(有識者)	渡辺 恭良	理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤 研究センター長
	川田 均	大阪市 都市計画局長
	児玉 達樹	大阪商工会議所 常務理事・事務局長
	古堅 一成	関西経済同友会 関西広域インフラ・うめきた 委員会委員
	芝池 利尚	大阪府 住宅まちづくり部理事
	西村 志郎	都市再生機構 西日本支社長
	松村 孝夫	関西経済連合会 専務理事

# 中核機能推進会議の主な意見

**第2回中核機能推進会議：H27.12.18開催**

**第3回中核機能推進会議：H28.2.10開催**

## □新産業創出のテーマ設定について

ライフデザイン・イノベーションとすることについて

- 「ライフデザイン・イノベーション」は開発事業者の発想を束縛せず発展性を期待できるテーマ
- 将来まで継続できるコンセプトの中で、テーマは変化・発展していくしくみが良い
- イノベーションを起こすしかけが最も重要であり、テーマは時代とともに変わる可能性を持たせることが必要
- テーマの発展アイデアを若い人たちから出してもらう機会を設けるべき

# 中核機能推進会議の主な意見

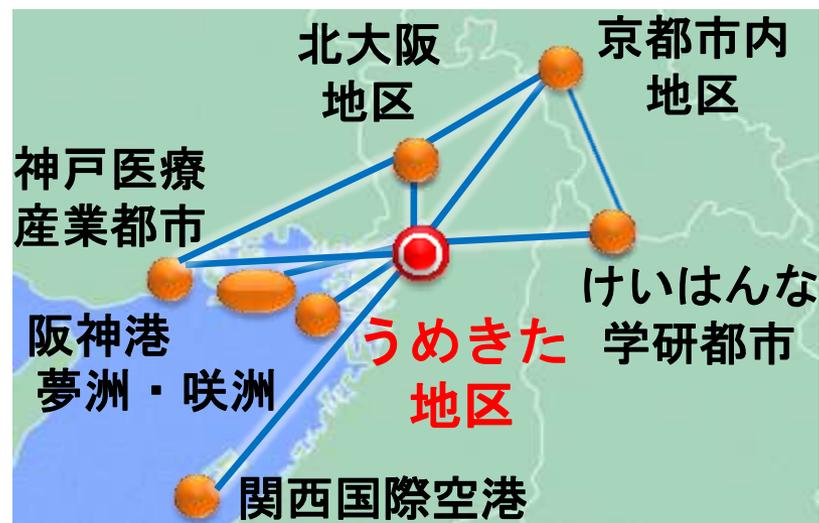
## □知的人材育成について

- 人材育成の段階に応じて教育も変化すべき。イノベーティブな活動を実践するプログラムをつくる必要がある
- 大学院生や社会人の再教育だけではなく、もっと若い人が学校で学べないことをうめきたで学ぶしくみがあれば良い
- 様々な大学のプログラムとの相乗効果が得られると良い
- まち全体を学びの場にできないか

## □国際集客・交流について

- 「みどり」に観光客を呼ぶというよりは、「みどり」でのイノベーション創出を中心に集客するという考え方で進めたい
- イノベーションを起こす環境をつくれれば、それ自体がきっかけで国際集客・交流機能が生まれるという考え方もある

# うめきたの立地を活用するイノベーションの創出



## □うめきた1期の取り組みとの連携

- うめきた1期では、ナレッジキャピタルの活発な活動などにより、起業家をはじめ多様な人材が集積
- IT・サービス分野などビジネス創出の成功例も生まれている
- うめきた2期では、1期にはない屋外の「みどり」の空間を活用。1期と連携してイノベーション創出を加速することが重要

## □関西のハブとしてのポテンシャル

- 関西の交通結節点
- 新駅開設により関西空港とも直結
- 関西を代表する研究開発拠点から1時間圏内の位置



関西国家戦略特区の拠点をつなぐハブとして、生み出された技術シーズと産業・ユーザーをつなぎ、次々と新産業を創出するしくみを構築

# 比類なき魅力を備えた「みどり」が創る新たな都市空間

## 「みどり」の空間形成

- ・まち全体を包み込む斬新で質の高い景観を創る「みどり」
- ・自然豊かな四季など日本の感性や文化を感じるメッセージ性の高い「みどり」
- ・まちの発展とともに成長する可変的なデザインを持った「みどり」

## 「みどり」の役割

- ・まちの骨格となる基盤として、次代に受け継ぐ資産となる「みどり」
- ・積極的な利活用によって多様な価値を生み出す「みどり」
- ・成長しながら、周辺地域へ滲み出す「みどり」の波及効果

「みどり」と「イノベーション」の融合拠点

# 「みどり」と「イノベーション」の融合拠点

## □10年後の大阪・関西

- うめきた2期がまちびらきを迎える概ね10年後には、超スマート社会が到来
- 高齢化や国際化を背景に、健やかな暮らしを支える技術やサービスに対する社会ニーズはますます高まる



都心機能の高度化や関西の魅力ある都市間の連携強化と  
産学官に市民・ユーザーも参画する取り組みの充実が重要

## □都心の「みどり」からイノベーションを創出

- 「みどり」を楽しむ、多様な人々の往来・交流によりイノベーションを誘発
- 都心だからできる実証研究、マーケティング、広報・展示の機会を創出  
例) 来街者が「みどり」の屋外空間で様々な未来技術やサービスを体験し、  
得られたデータを心身のリフレッシュや生活スタイルの見直し、健康  
づくりなどに活用できる機会を提供

# 「まち」と「みどり」によるイノベーション創出（イメージ）

学

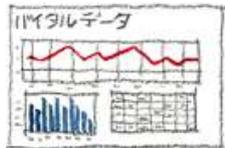


産学官+「民」による商品開発

産



ユーザー参加のマーケティング  
（モニタリング、アンケート）



センシング

バイタルデータの収集と解析  
（新技術の実証）



多様な人々の来訪

体験フィールドでのアクティビティ  
（「みどり」の中で健康増進）



センシング



健康情報を利用者にフィードバック



先進的な新商品・試作品の提供

民

# 「みどり」と「イノベーション」の融合拠点

## □活動のブランド化

- ・都心「みどり」の魅力と、そこで展開される活動が、独自のコンテンツを世界に発信する原動力となり、国際都市「大阪」のブランド力が向上
- ・国内外からの集客・交流をさらに加速し、新たな観光資源の開発や企業立地などにもつながる好循環を生み出し、都市の活性化をもたらす

## □「まち」と「みどり」の一体的マネージメント

- ・「まち」と「みどり」を使いこなし、価値を高めるタウンマネジメント組織の役割りが重要
- ・このマネージメント組織は、イノベーションを創出するため、「みどり」の空間を含むまち全体で、研究開発の早い段階から産学官民による活動のフィールドを提供。

# イノベーション拠点のテーマ

## 「ライフデザイン・イノベーション」

超スマート社会が到来する中、IoTやビッグデータ等の活用により、創薬や医療機器開発などの分野にとどまらず人々が健康で豊かに生きるための新しい製品・サービスを創出する

### □テーマ設定の考え方

- イノベーション拠点の活動をスタートするにあたり、関西の強みを活かし、またうめきたの立地特性を踏まえたテーマとして「ライフデザイン・イノベーション」と設定

### □テーマの発展方向性

- 人と健康・生活の関わりから、異分野融合によるイノベーションを創出
- IoT、インダストリー4.0など、未来生活を支えるものづくりの新しい潮流をとらえ、幅広い企業が参画する柔軟で発展性のある取り組みを推進
- 大幅な技術革新や社会経済環境の変化など、時代のニーズに柔軟に対応

# ライフデザイン・イノベーションのイメージ

## エデュテインメント

楽しみと学びを実現する  
イベント・プログラム 等

## ライフスタイル

QOLを支える  
製品・サービス 等

## ウェルネス

心と体の健康増進につながる  
製品・サービス 等

## イノベーション創出

産・学・官・民による「健康×IoT」創造

## 「みどり」

うめきた2期

市民・ユーザーとの接点

大学・研究機関

企業・起業家

# うめきた2期に導入する中核機能の概要

## 新産業創出

～新たなビジネスチャンスの創出～

参加型実証研究

ビッグデータ活用

プレマーケティング

「みどり」

## 国際集客・交流

～まちと一体化する交流空間～

屋外空間も活用した

イベント・展示

レセプション

## 知的人材育成

～交流による多様な気づき～

プロジェクトを通じた学び

実践的プログラムの実施

# 新産業創出機能

- 中核機能の中心となる新産業創出機能の実現には、立地にすぐれ、高質なみどりの空間を擁するうめきたに、関西の研究開発拠点の人と技術を、産業、ユーザーにつなぎ合わせて新産業創出を加速するしかけを導入することが重要となる。
- このため、総合コーディネート機関を設置し、イノベーション支援機関や新産業創出に関わる企業の参画を得て、イノベーションプラットフォームの形成とマネジメントに中心的な役割を担うことが求められる。

## □総合コーディネート機関

- 新事業創出のしくみ作りに中心的役割を担う
- 経済界の協力のもと広く企業の参画を募るとともに、開発事業者も参画する
- まちづくりの準備期間から活動を開始

# 新産業創出機能

## □総合コーディネート機関

- 総合コーディネート機関に求められる活動

### <活動内容>

- ・ **企業等と研究機関を結びつけ、研究開発・事業化プロジェクトを創出**  
関西の優れた研究機関や大学の技術と、新事業創出を行いたい企業等とを結び、研究開発や事業化に向けた産学共同プロジェクトの組成等を行う
- ・ **革新的プロジェクト支援、「みどり」を活用した実証研究のコーディネート**  
事業化プロジェクトの組成や資金獲得に向けた支援や、「みどり」をフィールドとした実証研究を行うためのコーディネート等を行う
- ・ **国際的な連携関係の構築**  
海外企業や研究機関とのプロジェクトチーム作りやビジネスアライアンスの実現など、広域での事業展開を実現するため、海外の研究開発拠点やビジネス拠点との日常的な関係をつくり、情報発信などを行う。

# 新産業創出機能

## □イノベーション支援機関

- 国のファンディングエージェンシーなど、事業化に必要な資金の供給や知財の活用促進など、イノベーション支援を自らの事業とする機関が立地
- 豊富な支援メニューを効率よく活用し、関西一円に効果を波及させ、イノベーションを加速

## □研究機関の参画

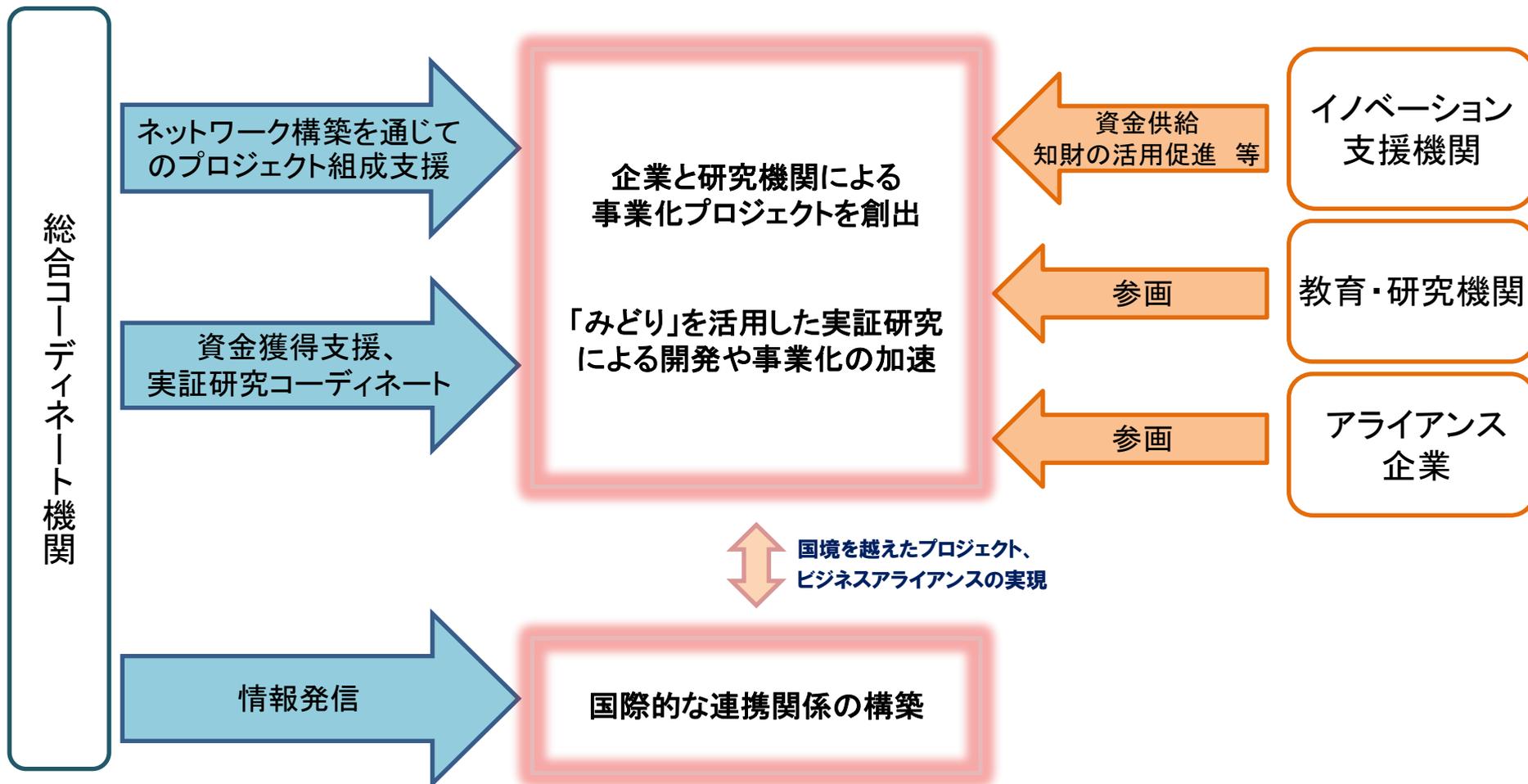
- 事業化を加速するため、産学連携のプロジェクトチームが一定期間うめきた2期の共同ラボ等に滞在し、「みどり」の実証フィールドなどを活用して、研究開発の方向性を最適化

## □アライアンス企業

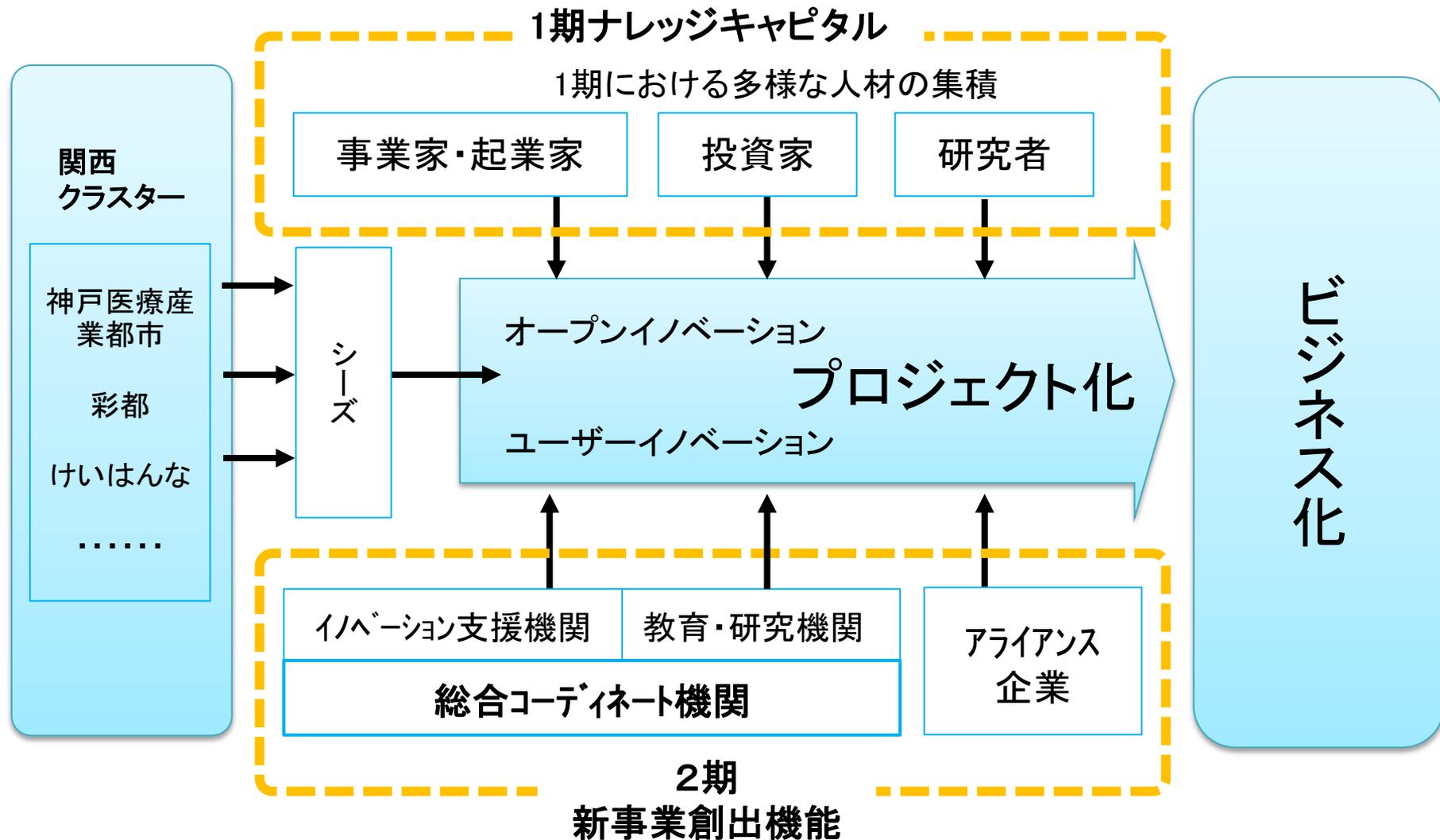
- 研究成果やビジネスアイデアの事業化に必要な多様なビジネスパートナーの立地

# 新産業創出機能

## □総合コーディネート機関の役割と進出機関との連携



# うめきたの立地を生かしたイノベーション創出



# 知的人材育成機能

- イノベーションの担い手となる構想力や実行力を備えた人材が育ち、ネットワークを広げるしくみを作る
- ビジネスパーソンや若者がプロジェクトに参加し、イノベーションプロセスを体験する機会の創出や国内外の大学が連携した教育プログラムの実施など、様々な人材育成の機会を作り出す

## □実践的な教育プログラム

- ビジネスパーソンや若者が実証研究や技術の実用化プロセスを体験するプログラム
- みどりの屋外空間に集まる人々の活動の観察を基にした研究プログラム
- 起業家マインドやこどもの科学マインドの醸成プログラム

## □国内外の大学の連携による人材の集積・交流

- 複数の教育・研究機関の連携によるデザイン人材・起業人材・文理融合人材を育成する新しいプログラム
- 国内と海外の大学とのジョイントディグリープログラムや留学生交流事業等グローバル人材育成に繋がるプログラム

# 国際集客・交流機能

- 都心に生まれた高質な「みどり」の空間を活用し、集客と交流につながる様々な活動を展開する。
- うめきた2期の施設と大阪駅周辺の多様な施設が相互に連携することによって、一定規模のMICEが開催できる環境の実現を図り、大阪・関西の発信力を高める。

## □「みどり」の魅力を活かした集客力の強化

- みどりのオープンスペースで、憩い、食事、スポーツ、文化、学習、交流等新しい楽しみ方を提案するとともに、国内外から多様な来街者を集め、新しいビジネスチャンスの生まれる場をつくる

## □まち全体で都市型エリアMICEを実現

- うめきた2期では、周辺の既存ストックも含め、MICEイベント毎の特徴に対応して柔軟に運用できる施設構成が望まれる
- 大阪駅周辺地区にある、国際水準のホテル・会議場などと、施設の利用調整や集客企画、共同プロモーションなどを行うしくみが必要

# 中核機能を実現する施設構成のイメージ

## □プラットフォーム施設

- 総合コーディネート機関が運営
- 公的機関などが入居できるスペース

例) ● 総合コーディネート機関の事務所

- イノベーション支援機関等が入居するオフィス(国等の機関)
- 研究開発プロジェクトに活用するレンタルラボ、共用ラボ
- 人材育成プログラム等のための共用講義室
- ホール、会議室(周辺施設と協調できるもの)など

## □イノベーション施設

- イノベーション創出を事業とする企業等が立地

例) ● 企業の新規事業開発の担当部門や研究所

- 投資会社、ビジネスアクセラレーター、企画会社、デザイン企業
- ビジネスパーソンや起業家、研究者等国内外の来訪者の短期滞在施設
- 知的人材の日常的な交流を育む交流スペース(カフェ、コモンスペース等)

## まちびらきに先行する取り組み

- 開発事業者の決定からまちびらきまでの期間を活用し、2期の認知度・関心を高めていく必要がある
- 「ライフデザイン・イノベーション」をテーマとしたプロモーション活動

### □先行プログラム例(プロモーション活動、プレ事業)

- 各種研究会
- 国際会議の開催
- 実証プログラムの試行 ほか

関西の研究開発拠点・機関とネットワークを形成し、  
総合コーディネート機関の経営力を醸成し  
まちびらき後すみやかに活動できる準備を整える